



1 学年通

令和6年5月10日
江戸川区立松江第五中学校
第1学年 学年通信
NO. 4



中学生になって！！～作文特集～

今回の1学年通信は、「中学生になって」というテーマで書いた作文特集です。頑張りたいこと、こういう人になりたいという、「今の思い」を書きました。

あこがれに近づく三年間 1組： ** * *さん

暖かい春の季節、私は中学生になりました。新しい生活への楽しみで胸がいっぱいです。

私はこの中学校生活で、達成したい目標が二つあります。

一つ目は、自主性を高めることです。中学生やそれ以降では、人が注意してくれたり教えてくれたりすることは少なくなります。だから、周りの人においていられないように、勉強も部活の練習も自分からできるようになりたいと思いました。そのために毎日勉強する習慣をつけたり、自分から家の手伝いをしたりして、小学生のころは人に言われてやっていたことも、自ら進んでできるような中学生になりたいです。

二つ目の目標は、相手を思いやることです。相手が喜べるようなあいさつや返事が出来たら、相手も自分もすがすがしい気持ちになれるからです。また、いつも相手がどう思うかを考えて行動できるようになりたいです。知らない間に自分の言葉で他の人が傷つかないように考えてから発言して、3年間友達と一緒に成長し続けたいです。

私が中学校を卒業するまでには、たくさんのがことが起きて友達と衝突することもあるかもしれませんが、そのときは相手を思いやって自分から謝れるようになりたいです。卒業する日に胸を張って、この目標を達成できたと言えるように三年間がんばっていきます。そして、それからもできることを探して自分から動き、どんな時でも思いやりの心を忘れないようにしたいです。そうしていつか、自分のあこがれを追いこして、立派な人になれればいいなと思います。



苦手なことを得意に 2組： ▲▲ ▲▲さん

自分は、人の前に立つことがあまり得意ではありません。だから、発表や人の前に立ってセリフを言う大きな仕事に立候補することは、あまり好きではありません。

中学校では、小学校の時よりも発表や仕事に立候補する機会が多くなると思います。だから、少しずつ発表回数を増やしていったり、自分のできそうな仕事から立候補したりしていくなどの工夫をして、だんだん慣れていけるようにしたいです。

あまり得意ではないことは、他にもあります。それは、相手より先にあいさつをすることです。自分は、相手に聞こえる声であいさつをすることはできるけど、先にあいさつをすることはできません。相手より先にあいさつをしたほうが自分も相手も良い気持ちになると思います。そのために、あいさつを交わせる人を一人、二人とどんどん増やしていつまでも、誰にでもあいさつができるようにしたいです。

得意にしたいことは、あいさつや発言などだけではありません。

それは勉強です。中学校では、小学校のときよりも難しくなると思います。だから、授業を集中して受けたり、間違っていたところは復習をしたりするなどして、しっかりと勉強したいです。そして、苦手なことを少しでも得意にしていきたいです。

この他にもあきらめずに挑戦して苦手なことを減らしていつまでも、楽しい中学校生活を送れるようにしたいです。



<元氣なあいさつをありがとう！！>

今回の作文特集でも書いてくれていますが、1年生は「元氣よく気持ちのよいあいさつ」をすることを大事にしています。入学式の誓いの言葉にも「あいさつを頑張りたい」とありました。

すれ違う時などに、松五生みんなが明るく「おはようございます」「こんにちは」とあいさつをしてくれるので、とてもさわやかな気持ちになります。

そのようなあいさつをこれからも続けて、気持ちのよい学校生活を送っていきましょう。